

深川市における稲WCSの生産支援

～ 自給飼料の確保と新たな水田輪作体系に向けて ～

深川市 多度志地区（8戸）

1 活動の背景

- ・水田活用の直接支払交付金の拡充・見直しに伴い、交付対象水田の方針が示された。
- ・資材費が高騰する中、畜産農家では「自給飼料の確保」が課題となっている。
- ・当地区では、「稲WCSの導入」について畜産農業者と水稲作付者、JA、普及センターが協議し、推進していくことを確認、令和4年度より活動を開始した。



畜産農業者
(肉牛・1戸)



水稲作付者
JAきたそらち
普及センター
飼料メーカー



写真1 稲WCSの給餌



稲WCSの推進体制を整え、取り組みを開始

2 活動の経過

- 3月7日 地域農業者と関係機関の事業説明会（支援チームの確認）
- 5月30日 稲WCS栽培の講習会（栽培管理、飼料品質管理）
- 7月4日 生育調査打合せ（活動の内容とスケジュール確認）
- 7月上旬 生育状況の確認（転作確認時に状況を把握）
- 8月中旬 収穫状況の確認（収穫時期、収穫機械の状況確認）
- 10月～12月 品質状況の確認（品質評価、官能検査）



写真2 畜産農業者との打合せ



写真3 WCS用稲の刈り取り



写真4 稲わらのロール作業

3 成果の具体的内容

(1) 支援チームの設置 (役割分担の明確化)



- 畜産農業者
収穫・調製
- JAきたそらち
事業及び研修会の計画・実施、営農指導
- 普及センター
栽培技術指導及び情報提供
- 飼料メーカー
飼料品質等の情報提供・飼料分析



写真5 協力体制の調整

(2) 栽培及び飼料化に係る技術支援 (普及センター)



- 栽培支援 (第1係)
水管理や雑草管理、防除、収穫期等の体系化支援
- 品質支援 (広域専門(畜産))
稲WCSの作業や飼料品質に係る管理技術支援

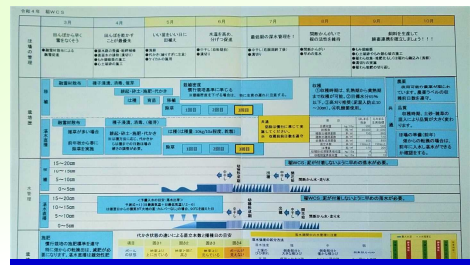


写真6 栽培技術資料の配布

(3) R4年度実績



- WCS用稲作付者
8戸
- 総面積
31.5 ha(うち直播栽培0.5ha)
- 総収量(ロール数)
985個
(200kgロール、2.7個/10a)
- 品質・嗜好性
良好(TDN 60.5%、CP 10.6%)

表1 R4年度の収穫実績 (※: 平均値)

JAきたそらち調べ

氏名	面積/10a	ロール個数	ロール個数/10a	ロール1個重量(kg)	収量(kg/10a)	総収量(t)
A	1,493	430	2.9	200	580	860
B	60	138	2.3	45	1035	62
C	119	30	2.5	200	500	60
D	489	112	2.3	200	460	224
E	285	63	2.2	200	440	126
F	239	51	2.1	200	420	102
G	174	50	2.9	200	580	100
H	293	111	3.8	200	760	222
8名	3,152	985	※2.7		※597	1756

4 今後の課題と対応

- (1) 水稻作付面積が増加すると、
収穫(ロール)作業が間に合わない。
➡ 収穫作業受託組織の設立を検討する。
- (2) 製品を収穫～冬季間保管する場所が限られている。
➡ 製品(ロール)の保管方法を検討する。
- (3) 畜産農業者、関係機関と協議する。
➡ 栽培及び品質管理技術をマニュアル化する。



写真7 稲わらロールの保管